

## 平成 30 年度第 1 回練馬区国際交流・多文化共生事業推進連絡会 要点記録

- 1 開催日時 平成 31 年 3 月 19 日（火）午前 11 時～12 時
- 2 場所 練馬区役所本庁舎 19 階 1903 会議室
- 3 参加者 ボランティア日本語教室等 30 名、地域振興課長、国際・都市交流課長、国際・都市交流担当係長
- 4 事務局 3 名
- 5 <配布資料>  
資料 1 練馬区における多文化共生推進事業（平成 30 年度）  
資料 2 連絡会について

### 6 内容

#### (1)開会あいさつ

（国際都市交流課長）挨拶

友好都市として、中国の海淀区、オーストラリアのイプスウィッチ市と交流している。平成 31 年度はイプスウィッチ市との交流が 25 周年を迎えるため、11 月末に実施する世界都市農業サミットへの招待を計画している。サミットの関係では皆様にもご協力をお願いする場面があるかと思うが、ご協力を賜わりたい。

（地域振興課長）挨拶

皆様には、国際交流・多文化共生事業等にご協力をいただいている。2 月に練馬区は第二次みどりの風吹くまちビジョンアクションプラン年次別取組計画の案を公表したが、その中で外国人の将来人口推計を出している。1 月時点で 20,000 人弱の外国人が、2049 年には 40,000 人を超えると推計されている。この数字は今後変化してく可能性があるが、外国人人口が増えていくのは間違いない。区では各分野の取組を整理し、今後の外国人施策の方向性を検討していく。

現在、庁内の横断的な組織を立ち上げていこうという事で準備を始めている。検討を進めていくにあたり、普段から外国人区民と接している皆様からご意見を頂きたい。

本日の連絡会では、外国人や皆様が抱えている率直なご意見等を頂ければと思う。

（事務局）

この会議で司会進行をしたい方はいらっしゃるか。希望者または推薦したい方がいらっしゃらないということであれば、このまま引き続き区側で進行

させていただく。(希望・推薦ともなし)

※レジュメに沿って進行

(2)練馬区の事業について

平成 30 年度実施事業の報告 (昨年度と変更ある事業のみ) ※【資料 1】 参照  
文化交流講座、イイねりまつア-、国際交流のつどい

平成 31 年度実施予定事業について ※【資料 2】 参照  
新規事業を抜粋して紹介

(仮) ねりまワールド・フェスティバル、こども日本語教室サポーター講座

### 3 各参加団体から

(参加団体)

生徒から年金、保険関係についての相談を多く受ける。生徒達は何を見れば分かるのか、誰に聞けば良いのかが分からない。

教室の会場確保の問題がある。普段は光が丘図書館を利用しているが、時々使用出来ない場合があり、他の場所も確保できない事が年に数回ある。何か解決策がないか今後相談したい。

(参加団体)

教室は中国の子供が多い。

始めは小中学生だった子供達が高校生になっても日常生活で困る事は多々ある。他に頼る人がいないため、小中学生の頃お世話になった教室に相談が舞い込んでくる。高校入学の書類や在留資格等トラブルは多岐にわたり、対応に苦慮する。

また、子供が中学生に上がりある程度日本語が出来るようになると、親や親戚から頼られるようになってしまい、その相談も教室に持ち込まれる。

子どもの数が増えているため、今後こういう問題が増えてくると考えられる。

(参加団体)

教室は、水曜日午前中に実施している。生徒は主婦層が多いため、乳幼児連れで来られる方もいる。現在は 3 組。手の空いているボランティアで乳幼児の面倒を見ているが、静かな雰囲気勉強に集中できるよう毎回工夫を凝らしている。

教室は生徒の出入りが激しい。仕事が見つかったためやめる、ワーキングホリデーで来た若者が日本語の最初の部分が分かったためやめる等 3 か月程で帰ら

れる方もいる。準備が無意味になるため、時々虚しさを感じる。

今年度の養成講座の配属で、3人のボランティアの方に来ていただいた。学習者が満足して勉強出来るようにはどうしたら良いかを今後も考えていきたい。

生徒から受ける質問内容は多岐にわたっている。公的年金、火災保険・生命保険、子供の教育、幼稚園の書類の書き方等。中には、介護職の方から専門的な質問もされた。現場で働く外国人が専門用語に関して相談出来る窓口があると良いと思った。

(参加団体)

現在、生徒は15.6名程度。

医者とのやりとりでどういう言葉を使えば良いか分からない、という相談を受けた事がある。

(参加団体)

教室は、土曜日の午前中に実施している。学習者の人数が非常に多く、1人の先生につき4人の生徒を見なければいけない事もあった。以前辞められたボランティアや他の教室にヘルプをお願いし、何とか続けられている。

生徒はIT関係に勤めている方、日本語のレベルの高い方が多い印象を受けるが、こども日本語教室も同じ時間でやっているため、最近は主婦層も増えてきた。

生徒からの相談は、生活に直結した内容が多い。引っ越し等の住まいに関する問題、いじめ等の仕事に関する問題、健康に関する問題等。病院へ行ったが健康保険に加入していなかったため見てもらえなかった等の事例も聞いた事がある。

(参加団体)

教室は夜間に実施しているため、昼間働いている学習者がほとんど。中でも、ベトナムからの技能時実習生が多い。今のところ特に問題はないが、実習生の拘束時間が長いと感じている。朝早く出勤し、帰って来られるのは7時近く。ある会社から連絡をもらい、ベトナムの実習生の受けは入れ可能かと問い合わせをもらったが、現場が遠く結局教室の時間までに戻って来られなかった。

実習生に対して、国は日本語の能力がどこまで必要か決まりを設けているか。

(事務局)

法律はこれから大きく変わるため、情報が入り次第皆様にお伝えさせていただきます。

(参加団体)

生徒は10数名程度と小さい教室。日頃から困った事があつたら言つて欲しいと伝えている。

生徒が抱える一番の問題として、病院関係があげられる。受診時にどう症状を訴えて良いか分からなかつたと生徒から聞いた。多言語対応可能な医療情報サービスひまわりはあるが、練馬区でも何かあれば教えて欲しい。

電話のやり取り、役所の丁寧な言葉が分からない等こまごまとした話も生徒から上がっている。

(参加団体)

光が丘にある文化交流ひろば多言語情報支援員で中国語を担当している。

場所が分かり辛い為、足を運んでくれる人が少ない。以前より少しずつ良くなつてはいるが、中々増えない事が悩みである。

日本に来たばかりの学生から日本のしきたりについて質問を受けた。外国の文化を日本人に教える文化交流講座はあるが、外国人に日本の文化を伝える講座がないため、今後出来れば良い。

(参加団体)

文化交流ひろば多言語情報支援員で英語を担当している。月曜日は韓国語、火曜日・木曜日・土曜日は英語、水曜日・金曜日・日曜日は中国語の支援員がいるため、来ていただければ相談に乗る事が出来る。日本語教室に通う生徒に情報を伝えて欲しい。今回の連絡会を通して、ひろばの事があまり知られていないと痛感した。

(参加団体)

文化交流ひろば多言語情報支援員で中国語を担当している。区で初級日本語講座を実施しているが、中級の講座をやつてほしいという相談をよく受ける。

通訳ボランティア制度について、区の保健相談所等へ通訳として行つた事がある。区の職員がいない場合、病院に通訳として同行出来る制度がないため、心苦しい。支援出来る制度が出来れば良い。

(参加団体)

去年の4月から学童クラブも始まつた。今年の4月には満員以上の生徒が入つてくると考えられる。

皆様からの発言を集約すると、言葉でコミュニケーションが取れないという事が一番の問題と感じた。

新年度70名の留学生が入つてきた。傾向としては、短期の留学生(4月～8月)

が増えた事と女性が増えた事があげられる。留学生の内 3 分の 2 程度は女性。留学イコール就職という認識がない限り、今後留学生は増えないと考えられる。

(参加団体)

こども日本語教室で活動している。子どもは増えるが、ボランティアは増えないという非常に厳しい状況。今後どうやっていくかを考えなければいけない。

毎年夏にホームステイで来る子を受け入れているが、子供の様子が変わった。本当に日本が好きの子からただ遊びたい子に変わってきたように感じる。

日本人男性と結婚して出来た子供に対して父親のフォローが少ないように感じる。育児を母親に任せた結果、子供の日本語が上達しないという事態が生じているため、父親へのフォロー講座があっても良いのではないかと考えた。

(参加団体)

こども日本語教室で活動している。勉強の合間に子供達の文化について聞いたり、日本についても話す等努力していきたい。また勉強したいという気持ちを子供に持ってもらいたい。

(参加団体)

新しく入った先生やその子供が皆様の教室でお世話になっている。

10～12 年生は必ずボランティア活動をしなければいけない。光が丘図書館で絵本の読み聞かせ、学童保育で英語で遊ぶ会等をやらせていただいている。

毎年生徒達の国籍や興味が異なっており、去年は日本人が多かったため国際交流のつどいをキャンセルしてしまった。今年は、色々な国籍の子供達がいるため、協力出来ればと思う。スウェーデン語、ポーランド語が増えている。しかし、クリスマス時期になると、家族と過ごすため、国に帰ってしまう人が多い。イベントをやるなら早い時期が良い。生徒達に色々な体験をさせてあげたい。

(参加団体)

中国語担当をしている。日本語教室の皆様には普段からお世話になっている。中学校と小学校で日本語指導をやっている。中学校を受け入れてくれる日本語教室に非常に感謝している。

(参加団体)

英語を担当している。ボランティア日本語教室では、外国人に日本語を教えるだけでなく、身近な質問や悩みを色々な形で助けて下さっていると分かり、連絡会に参加して良かった。一緒に外国人が練馬で良かったと思ってもらえるよう

力になりたいと考えている。

(参加団体)

会場確保に苦勞しなかったため続けて来られた。

以前に、技能実習生を担当していたが、突然来なくなってしまい上手くサポート出来なかった。

ボランティア日本語教室では、コンスタントにボランティアとして教えて下さる方を募集していると思われるが、現状を鑑みると働いている方も組み込んでいかないと人手不足になるのではないかと感じた。

(参加団体)

現在、生徒は 20 名弱。

外国の方は働きに日本に来ているため、仕事が見つければすぐ教室をやめてしまう。そのため来るもの拒まず、去る者追わずの姿勢で続けてきた。特に問題なく、上手くいっている。

(参加団体)

水曜日の午前中に実施しているため、主婦層が多い。この間、日本に持ち家のある中国人夫婦に町内会の意味を聞かれて驚いた。こういう問題が今後増えるだろうと思った。

(参加団体)

他の団体からお話があったが、理想は困る中学生をなくすこと。日本語教室にまず母親が来て、何でも対処出来る存在となってほしいが、中々理想と現実が一致しない。

(参加団体)

水曜日午前中に実施しているため主婦層が多い。入門から上級までのコースを設けており、上級者が一番多い。国籍はアジア人が多数。在籍は 80 名程度だが、1 回の参加者数は大体 45 名程度。キッズルームも設けている。新生児に関しては、キッズルームの使用が出来ないため、ぴよぴよを案内しているが、練馬区の人しか利用できない。近隣の和光市から通う生徒もいるため、対象を広げてもらえるとありがたい。

生徒からは公共機関で無料 Wi-fi が使えれば、スマホでコミュニケーションが取れて楽なのにと言われる。

生徒からビザについての質問を受けるが答えられない事が多いためシステム

を教えて欲しい。

文化体験も大事と考えている。国際交流サロンを実施出来るかの調査が 3 月ぐらいに届くが、出来れば 4 月以降に調査をして欲しい。

(参加団体)

土曜日の夜間に区役所で実施している。夜間のため様々な生徒が来る。

去年 1 年間で在籍数は 65 名程度、1 回の参加者数は 50 名程度。非常に人数が多く、2 部屋使用している。子供は中学生以上の入会を認めている（小学生は断っている）。子供絡みの相談が増えたと実感しており、担当者が中心になって対応している。

最近は落ち着いたが、実習生はここ数年非常に多く、皆熱心に勉強している印象を受けた。居場所として日本語教室に来ているという事が良く分かった。

生徒達にとって日本語教室が憩いの場所となる事を希望している。

(参加団体)

小中学生を対象に教えている。子供達のレベルは読み書きのできない子から出来る子まで様々。子供は、生活用語は比較的早く身につくが学習用語になると非常に難しくなる。出来る子には、教科の勉強も併せて指導していきたい。

子供のレベルに合わせて、いかに充実した時間に出来るかが課題になっている。

(事務局)

外国語相談窓口と文化交流ひろばについて案内。